

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

師範
了戒亨留

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

師範正
樋口卓也

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

師範正
鳥飼真理

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

師範正
末森水苑

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

師範正
牟田采娟

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

成家
下田華恵

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

準7級
谷川実沙

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

六段
住田紫苑

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

準六段
竹本航

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

六段
松山京華

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

師範
福沢由美子

啼鴉井上驚風散
殘雪窓前助月明

師範
龍由香里

四辯憶成六藝門闕
安和表裏康睦遂

成家
秋永春霞

表裏康睦遂乃體謝
塵端取昇物表慈

成家
深町鳳月

表裏康睦遂乃體謝
塵端取昇物表慈

成家
立谷青霞

六藝門闕安和表裏
康睦遂乃體謝塵

師範正
原賀松琴

表裏康睦遂乃體謝
塵端取昇物表慈

師範正
山口裕華

表裏康睦遂乃體謝
塵端取昇物表慈

師範正
滿江壽琴

者補隨寶巖非庄
巖而真巖姑喇仙

師範
山田登之

表裏康睦遂乃體謝
塵端取昇物表慈

師範
岡由香里

才具四辯憶成六藝
門闕安和表裏康

師範
佐田馨春

表裏康睦遂乃體謝
塵端取昇物表慈

師範
松永美貂

表裏康睦遂乃體謝
塵端取昇物表慈

五段
江口真梨子

表裏康睦遂乃體謝
塵端取昇物表慈

準三段
井口美代子

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

師範正
鳥養恭雅

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

師範正
宮本虹鶴

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

師範正
川久保由香里

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

成家
榎井末美

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

成家
阪井浩子

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

成家
幸彩華

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

準師範
松山悦子

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

師範
徳永直恵

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

師範
矢野凉湖

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

師範
安仲夕蟬

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

師範
徳永紫陽

一陽来復雜木林に
 一陽来復雜木林に
 刻路の海は冬の月かな

師範
鹿毛純光



師範正 野 中 静 波



師範正 黒 木 智 子



成 家 松 原 華 月



準二段 佐 藤 銀 川



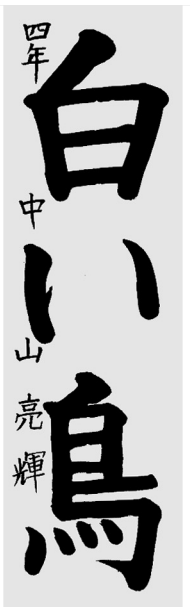
準師範 神 西 康 久



師 範 末 藤 洋 祐



小4.準四段
矢 野 杏 佳



小4.五段
中 山 亮 輝



小3.4級
限 元 瑠 星



小3.準3級
城 戸 浩 菜



小2.準4級
藤 野 里 香



小2.二段
有 附 昇 奏



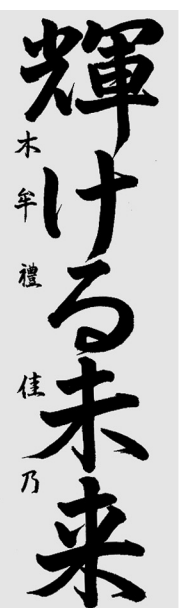
小1.7級
船 津 丸 ひ み か



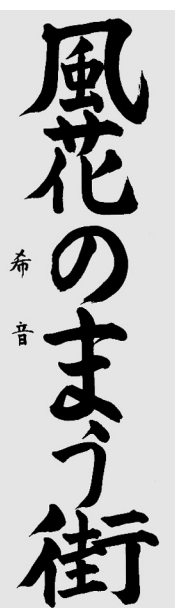
中1.特待生
早 川 姫 菜



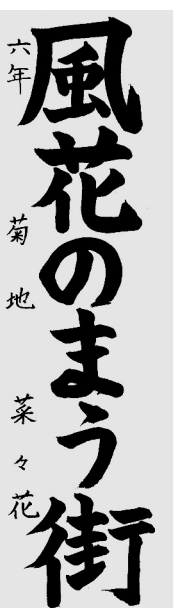
中3.特待生
友 枝 朱 音



中2.準特待生
木 牟 禮 佳 乃



小6.六段
安 河 内 希 音



小6.初段
菊 地 菜 々 花



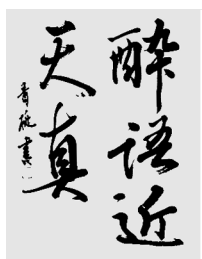
小5.準四段
谷 口 理 奈



小5.準六段
山 名 映 理

半紙規定優秀作品

(12月28日締切分)



師範正
白石青桃



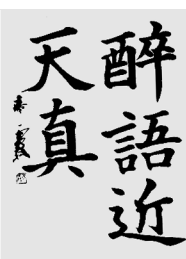
師範正
川久保由香里



師範正
宮本虹鶴



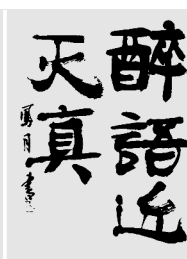
師範正
黒岩三溪



成家
秋永春霞



成家
江川悦子



成家
深町鳳月



師範
豊嶋祥波



師範
久保象雲



師範
松永里美



師範
古瀬白梢



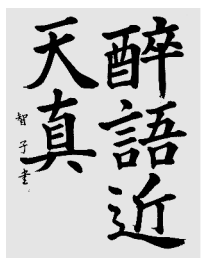
師範
高山奈津季



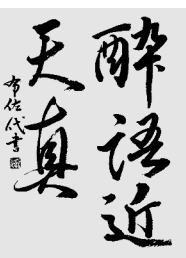
師範
藤永瑠雲



師範正
鳥飼真理



準五段
小林智子



五段
堤布佐代



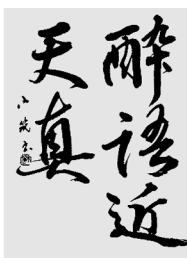
五段
須崎牙風



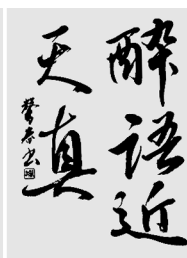
六段
辻裕翠



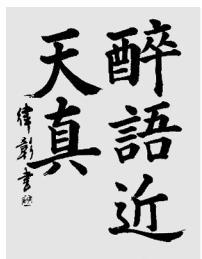
準師範
池田静玉



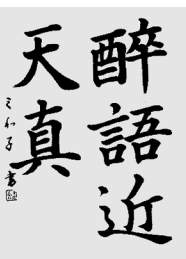
準師範
森小筑



師範
佐田馨春



準三段
佐々木律彰



準三段
沖田三和子



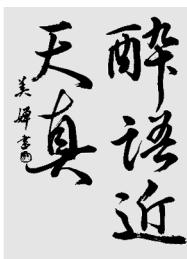
準三段
井口美代子



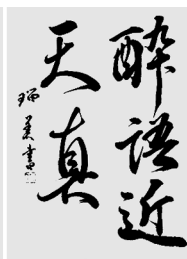
三段
大森静佳



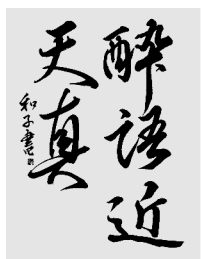
三段
志水萌



準四段
集路美輝



四段
西川ルミ子



準2級
松尾和子



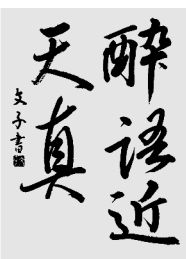
2級
南義澄



2級
福本真理子



1級
長野誓子



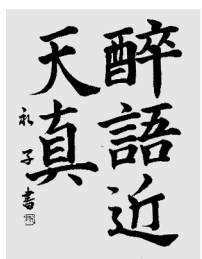
初段
河野文子



準二段
藤丸美恵



二段
定司紀子



8級
勝谷礼子



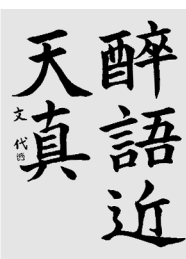
準6級
小野恵風



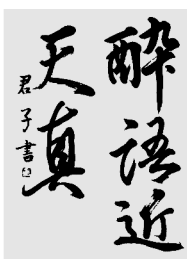
準5級
中園杏苑



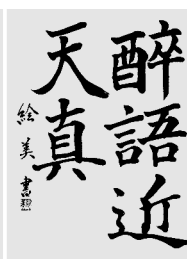
準4級
八木裕美子



4級
山田文代



準3級
森本君子



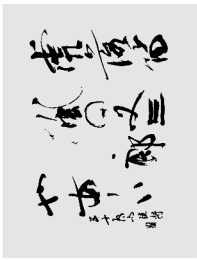
3級
村山絵美

半紙随意优秀作品

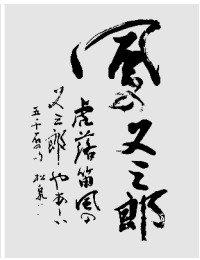
(12月28日締切分)



師範
古村青霞



師範
小村佳将



師範正
大平松泉



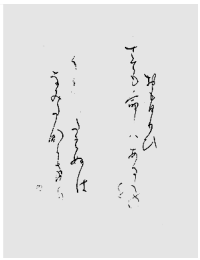
師範正
村内綽子



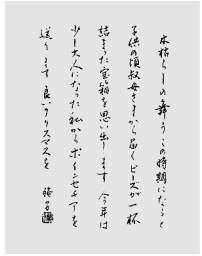
師範正
川久保由香里



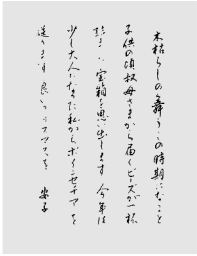
成家
江川悦子



成家
伊良子喜代



準五段
吉中裕子



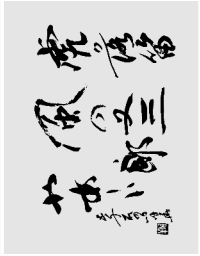
準五段
及川勝香



五段
廣田清錦



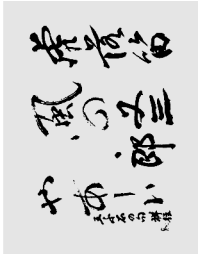
準六段
岡野緑泉



準六段
永田唯華



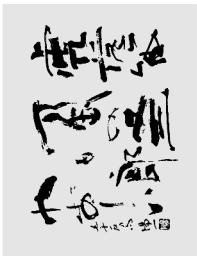
六段
矢野寿恵



準師範
内山祥徑



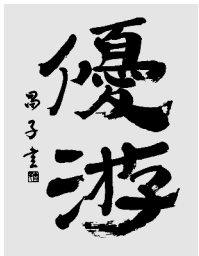
準三段
麻川和子



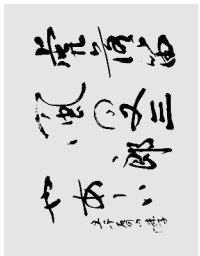
三段
日高陽一



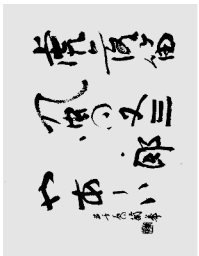
準四段
石川日菜



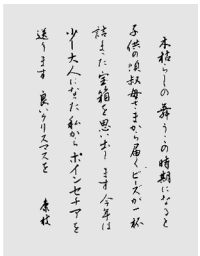
準四段
吉見昌子



準四段
勝木凉子



四段
裸野蘭華



四段
海江田康枝



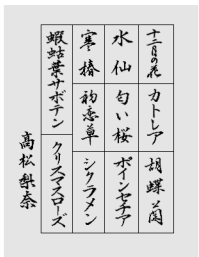
準1級
村井和子



1級
永澤里奈



準初段
野崎水麗



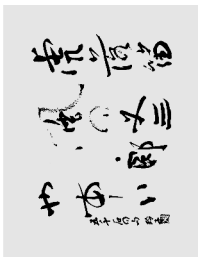
初段
高松梨奈



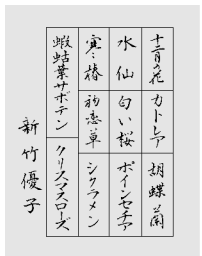
準二段
各務和子



準二段
河野由



二段
草葉玲子



5級
新竹優子



準4級
和田有希子



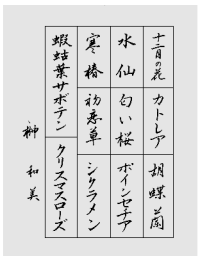
4級
牟田久仁子



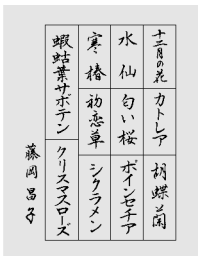
準3級
植原裕子



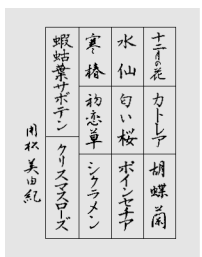
3級
佐藤文香



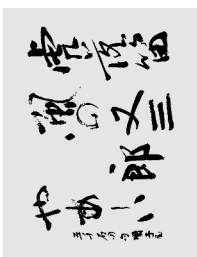
準2級
榊和美



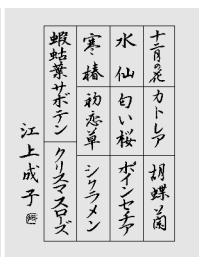
2級
藤岡昌子



準8級
用松美由紀



8級
杉野順子



準7級
江上成子



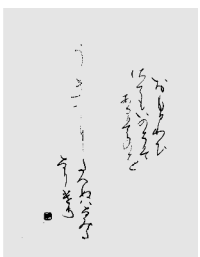
7級
岡美秀



準6級
中島瑠美



6級
大坪清子



準5級
原泰雲

半紙随意(臨書)優秀作品 (12月28日締切分)



師範正 熊谷壽香 | 師範正 戸田恵華 | 師範正 樋口卓也 | 師範正 小野清舟 | 成家 下田華恵 | 成家 榎井末美 | 成家 立谷青霞



師範 塚本彩虹 | 師範 小林和枝 | 師範 重富翠柳 | 師範 重松周子 | 師範 名切光子 | 師範 檜橋篤子 | 師範 毛利奈津子



準六段 毛利照子 | 準六段 入江亜希子 | 準六段 寺崎美千代 | 六段 長尾益子 | 六段 住田紫苑 | 師範 佐々木秋穂 | 師範 大西万里子



三段 奥村直美 | 準四段 鈴木華鈴 | 準五段 鶴田紅霞 | 準五段 新井萌華 | 五段 國田仙華 | 五段 池田恵泉 | 五段 光武和子



2級 佐々木章江 | 準1級 大木満壽子 | 準初段 佐田理子 | 準初段 鏡澄子 | 準三段 西村実実 | 準三段 鮎川香翠 | 三段 志摩洋子



8級 奥家洋美 | 準7級 吉崎江扇 | 準5級 角喜和子 | 5級 高嶋寿子 | 準4級 日野倭子 | 4級 久保早百合 | 準2級 齊藤衣純

半紙優秀作品 (12月28日締切分)



準5級 高木 みさき | 1級 岡崎 りおん | 8級 田中 あいら | 8級 まつもとわたる | 7級 木村 優萌香 | 準6級 伊東 みう | 6級 宮本 桜空



準8級 西田 早ほ | 準8級 山崎 陽之介 | 準7級 久田 晟 | 7級 矢加部 瑤 | 7級 古藤 宏乃 | 準6級 田中 佑之介 | 6級 江口 こう平



3級 森 絢音 | 2級 土井 晴佳 | 2級 川本 綸 | 準1級 阿部 みなみ | 準1級 米澤 桜雅 | 準二段 進來 悠子 | 準二段 前田 結衣



準7級 潮下 美優 | 7級 堀之内 結 | 6級 坂本 遥 | 準5級 山口 龍太郎 | 5級 藤原 沙衣 | 5級 稲田 拓真 | 3級 川口 ひかる



2級 麻生 音紗 | 準1級 石井 海斗 | 1級 西田 伊織 | 初段 藤井 斗雅 | 準二段 古瀬 陽 | 二段 湯田 佳士 | 四段 徳永 亮太



準6級 辻 侑来 | 準5級 樋田 あやか | 5級 見村 楓菜 | 4級 西川 夕輝 | 4級 立野 陽花 | 準3級 山崎 碧紗 | 3級 浦川 はると

半紙優秀作品 (12月28日締切分)



初段 畑村 ひな乃
二段 岡本 ひなた
三段 高橋 まなみ
準四段 前田 乃亜
五段 吉本 芽生
五段 堀 彩香
準六段 河野 風紗



準六級 伊藤 沙菜
準四級 馬田 穂
準三級 西林 七都
準二級 佐田 朋佳
準一級 山田 優那
一級 森口 ほのか
準初段 川嵯 陽輝



三段 古賀 希
準四段 入江 真奈美
準四段 山本 タ蘭
準五段 川村 仁美
五段 河田 真奈
五段 橋山 沙叶
六段 安河内 希音



七級 鎌田 果歩
六級 大野 陽香
準五級 小野 芽依
準三級 野口 愛華
準初段 草場 結乃
準二段 高村 ひより
二段 谷峰 玲愛



五段 吉富 彩華
準六段 松瀬 愛佳
準六段 凌 莉奈子
六段 自見 祐花
六段 安座間 明日香
準特待生 白倉 美鈴
特待生 早川 姫菜



七級 山口 莉苑
三段 鈴木 まひろ
準四段 福山 千晴
準六段 柿元 彩葵
六段 西島 綾梨
特待生 和田 愛里
特待生 篠原 遥海

七級 山口 莉苑
三段 鈴木 まひろ
準四段 福山 千晴
準六段 柿元 彩葵
六段 西島 綾梨
特待生 和田 愛里
特待生 篠原 遥海

硬筆優秀作品 (12月28日締切分)

太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 菅井みゆき	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 花野愛央	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 藤木美羽	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 徳丸仁菜	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 山本大斗	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 清末この	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 高江しほ
--	---	---	---	---	---	---

準1級 菅井みゆき 準二段 花野愛央 準三段 藤木美羽 準四段 徳丸仁菜 四段 山本大斗 準五段 清末この 準五段 高江しほ

太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 山崎萌生	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 阿部あやか	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 内村真海	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 水田やわら	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 神下美沙希	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 矢野心晴	太陽の光が夏に向かって 強くなり大きな葉のプラ タナスの木の下がしても よい日かげになるのです。 矢野聖幸
---	--	---	--	--	---	---

準6級 山崎萌生 6級 阿部あやか 5級 内村真海 準4級 水田やわら 準3級 神下美沙希 2級 矢野心晴 準1級 矢野聖幸

漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 野坂心優	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 柴田結希	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 岩本菜乃	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 重松杏奈	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 原田侑奈	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 谷口理奈	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 佐藤優莉
---	---	---	---	---	---	---

初段 野坂心優 準二段 柴田結希 二段 岩本菜乃 準三段 重松杏奈 三段 原田侑奈 準四段 谷口理奈 五段 佐藤優莉

漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 中村好芭	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 富山純成	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 光武愛奈	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 馬場美来乃	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 江口莉乃	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 井脇遙風	漢詩は中国の詩でもともと は漢字だけで書かれたもので すわたしたちの祖先は古く から中国と交流し漢詩などの 文化にも親しんできました。 森口ほのか
---	---	---	--	---	---	--

準8級 中村好芭 準5級 富山純成 4級 光武愛奈 準3級 馬場美来乃 2級 江口莉乃 準1級 井脇遙風 1級 森口ほのか

方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 高津結衣	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 長岡凜	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 野田竜之介	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 竹井純白	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 真鍋莉々	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 日高実柚	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 吉武由偉
---	--	--	---	---	---	---

準三段 高津結衣 三段 長岡凜 準四段 野田竜之介 四段 竹井純白 五段 真鍋莉々 準六段 日高実柚 六段 吉武由偉

方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 鍛田歩乃花	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 進藤紗英	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 中原弘就	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 中原葵	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 川嶋絢加里	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 田中美優	方言を使うかどうか漢語和語 外来語のどれにするかなども相 手や場面によって考える必要が あります。それぞれの持ちようを 考え適切な表現を選びましょう。 谷峰玲愛
--	---	---	--	--	---	---

準4級 鍛田歩乃花 準1級 進藤紗英 1級 中原弘就 準初段 中原葵 初段 川嶋絢加里 準二段 田中美優 二段 谷峰玲愛

硬筆優秀作品 (12月28日締切分)

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

準六段 中岡 俊介 六 段 岡 くるみ 六 段 久保 夕希乃 準特待生 吉田 結 準特待生 深草 凜 特待生 堀田 美咲 特待生 長尾 百花

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

セブらは家に帰ると机の上には大きな画用紙を置きそれを左手で押さえながら風景を描いた山と谷と川と台地、不思議なことになぜかそれは人の顔のように見えた。

準三段 中村 航大 三 段 河本 彩伽 四 段 田島 里奈 四 段 中原 楓 準五段 中島 ひなた 五 段 百留 実和 準六段 藤木 莉子

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

準六段 山口 寛子 六 段 諸山 球子 六 段 田中 麗子 準師範 坂元 榮子 準師範 宮本 久美 師 範 藤 久美子 師 範 岩谷 翠岱

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

二 段 牛島 暢子 準三段 下田 華恵 準三段 馬場 紅季 準四段 松崎 和子 四 段 後藤 茜霞 準五段 川久保由香里 五 段 荒木 純華

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

準2級 藤永 溪泉 2 級 番 隆子 準1級 小松 紫部 準初段 橋本 美智子 初 段 西村 朋華 準二段 檜原 友子 二 段 永田 唯華

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

書語
実生活、健康の... (中略) ...

準7級 吉村 桂子 7 級 原 珠翠 5 級 藤本 しほり 準4級 西村 芙実 4 級 川鍋 敬子 準3級 佐藤 文香 3 級 藤岡 昌子